

# 再開発に税金投入



2024年3月議会  
田中議員が代表質問

2024年度予算などを決める3月定例水戸市議会が開かれ、日本共産党水戸市議団は田中まさき議員が代表質問、土田きよみ議員、中庭由美子議員が一般質問、各常任委員会で審議を行いました。



田中まさき議員

## マンション建設 3事業に12億円補助

水戸市の来年度予算は、再開発事業やマンション建設に巨額の税金を投入するものとなりました。その内容は、水戸駅北口三の丸地区の再開発に10億7200万円、泉町広小路のマンション建設に8300万円、南町の旧プリンスビル周辺地区のマンション建設に6000万円の補助です。田中議員は「3事業で12億円を超える。小中学校給食費の負担軽減の9億円を大きく上回っており、得をするのはゼネコン等の特定企業である。」

## 水戸駅北口に続き 泉町・南町4か所も

- 水戸駅北口ではゼネコンの長谷工と不動産会社のフージャースコーポレーションが186戸のマンション建設。市が39億円の税金投入。
- 南町3丁目北地区・旧プリンスビル地区、泉町広小路地区のマンション建設に、市はそれぞれ約7億円の税金補助を推進。
- さらに、南町3丁目旧ユニ跡地と泉町2丁目中央ビル地区の再開発計画が浮上。際限のない税金投入は中止すべきです。



多大な財政負担が生じ、市民の暮らしを守る事業を圧迫する」と主張。再開発等への補助の即時中止を求めました。高橋市長は「中心市街地の未利用地など、長年の課題を改善するため、可能な範囲で支援を行う」と答弁、開発を推進する姿勢を示しました。

## 市民のための市民会館に



土田きよみ議員

土田議員は一般質問で、市民に愛され、アーティストからの評価も高い山形県南陽市のホール（総事業費約67億円）をとりあげ、市民の声を聞かずに建設を強行した水戸市民会館（総事業費365億円）の問題点を追及しました。また、水戸市民会館を年間

約3億5千万円で管理運営する(株)コンベンションリンクエージが、県民文化センターの指定管理を年間約1億8千万円で請け負いました。県の選定に関わる資料は黒塗りだらけで、その経緯も不透明です。土田議員は「市の管理料が高すぎる。営利企業ではなく市が適正な経費で運営すべき」と主張しました。

## 日経新聞が報道 ゆきづまる再開発



日経新聞 2023.9.23

●日経新聞が水戸市民会館の再開発をあげ「自治体が補助金を交付したうえ建物を買取る公的資金の二重投入による「官製再開発」が地方財政の悪化を招く」と批判しています。

## コロナ ワクチン接種 助成増額を



中庭由美子議員

中庭議員は一般質問で、新型コロナワクチンへの補助増額を要求しました。ワクチンは今年から有料化され年1回接種になります。水戸市は子どもや高齢者など(①0歳〜18歳、②60歳〜64歳の特定疾患の方、③65歳以上)

に一人2千円補助を行います。自己負担は約5千円と高額です。インフル同時接種で自己負担8000円。中庭議員は「新型コロナとインフルエンザのワクチンを両方接種すると自己負担は約8千円。接種をためらうことのないよう補助を増額し、年齢を限定せず希望者全員に補助を」と求めました。保健医療部長は「2千円の公費助成で負担軽減を図る」と答弁しました。



- 市民からの要望で計画がスタート(1万1千名が署名。議会で請願採択)
- 市民懇話会・専門家会議で議論を重ね「舞台を利用する立場で使いやすいホールを」というコンセプトで設計。
- 地元産の木材を使用、地元企業が協力し再生可能エネルギーを導入。
- 木の香りが漂い、音のよいホールとしてアーティストからの評価も高い。
- 総事業費は66億8千万円(水戸市の5分の1以下)、運営は市直営です。

## 基金の活用で 介護・後期高齢・国保値上げ中止を

値上げ条例や予算に共産党市議団は反対。他の議員の賛成で可決されました。

- 介護保険料 所得段階10〜13段階が値上げ 最高51420円アップ
- 後期高齢者保険料 11%アップ1人平均・年8000円値上げ
- 国保税 最高額が2万円値上げされ年106万円に

## 日本共産党水戸市議団



田中まさき議員



土田きよみ議員



中庭由美子議員

# 水泳環境の充実を



土田きよみ議員

必要な事業です。

土田議員は、「まだまだ十分使えるプールを廃止するのは市民の財産を損なうもの。夏場に水に親しむ場所として事業を充実すべき」と主張。



土田議員は「震災で市民プールが使えなくなり、多くの市民や子ども達が市外の施設を利用している。水のまち水戸に必要なのは大人から子どもまで楽しめる市民プール」と述べ屋外市民プールの再整備を求めました。

## 土田議員のその他の質問

- ◎ 割高な民間サービスを利用して障がい者の移動支援に市の補助を
- ◎ 放課後学級の避難訓練を、委託事業者任せにせず市の責任で行うこと
- ◎ 原子力災害が起きたら避難は不可能。東海第二原発は廃炉にすること
- ◎ 災害時に備えベットの同伴避難と被災動物や迷子の保護ができる体制を

# 交通弱者に支援を



中庭由美子議員

## 県内多くの自治体でタクシー券など実施

中庭議員は「県内多くの市町村が乗り合いタクシーやタクシー補助券の支給、シルバークラスなどを実施している。水戸市も交通弱者への支援策を早急に実施してほしい」と訴えました。

中庭議員は、自家用車がない方や運転免許返納者が気軽に外出できる支援策を求めました。路線バスの減便や運賃値上げが相次ぐ中、「水戸市の交通政策を充実してほしい」との声が多く寄せられています。

市長公室長は「水都タクシーを運行し、バス事業者と路線再編を進めている。運転免許返納者への取り組みは重い行政負担が課題であり慎重に検討する」と答弁しました。



## 青柳町・池上団地 擁壁の安全対策求める

青柳町の池上団地では、那珂市との境目の擁壁が東日本震災で崩れ、台風や大雨が降るたびに近隣住民が避難しています。中庭議員は「市が救済制度をつくり解決を促すべき」と要求。

建設部長は、「安全確保のため、引き続き那珂市と協調しながら対応に努める」と答弁しました。

## ジェンダー平等

中庭議員は「同性パートナーの住民票の記載を従来の『同居人』だけでなく、家族に近い関係を示す『縁故者』の記載も選べるようにしてはどうか」と提案し、制度の拡充を求めました。

## 自民党 裏金問題

# 企業献金の禁止求める

日本共産党水戸市議団は3月議会に「金権腐敗政治を一掃するため企業・団体献金の全面禁止を求める意見書」を提案しました。自民党派閥の政治資金パーティーをめぐる裏金

問題の徹底的な全容解明と関係者の厳正な処分とともに、企業・団体献金の全面禁止を強く求めたものです。意見書は共産党市議団以外の議員が反対し賛成少数で否決されました。

# 地震対策の総点検を



田中まさき議員

田中議員は能登半島地震をうけて、水戸市の地震対策の総点検と避難所の充実を求めました。水戸市の水道管は40年超の老朽管が300キロ以上、基幹管路6キロが耐震化されています。田中議員は「避難所の充実や、体育館のエアコン整備（完了予定は5年後）、水道耐震化のス

ピードアップを」と主張。

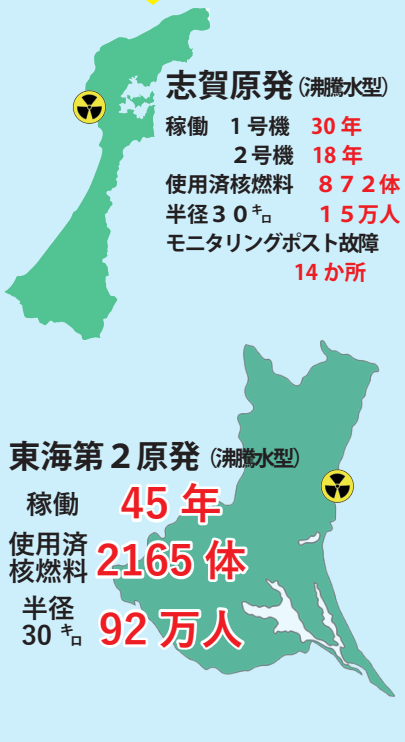
田中議員は「市内約1万1千戸が耐震化されていないが補助を活用し耐震化されたのは14戸にとどまっている。補助増額を」と主張。市長は「耐震改修補助を50万円から100万円に増額した。耐震化の必要性を周知・啓発する」と答えました。

# 原発事故 避難は無理

能登半島の志賀原発では外部電源の一部が使用不能、冷却用の油が漏れ、核燃料プールの水があふれるなどトラブルが発生。家屋倒壊や道路寸断で原発事故時に屋内退避や車で避難でき

ないことが明らかとなりました。田中議員は「東日本大震災では水戸市でも建物全壊が590棟、大規模半壊479棟、市道の約2千か所が通行止めとなりました。事故が起きたら避難できず被ばくする。ただちに再稼働反対の表明を」と主張。

## 地震列島に原発いらない!



## 無料法律相談

どんな問題でもお気軽にご相談ください。

4月20日(土) 午後1時から  
5月18日(土)  
6月15日(土)

主催：日本共産党水戸市議団  
場所：水戸市白梅3-13-8  
共同ビル1階 ☎029(221)7441

## 住宅耐震化の補助増額